



「見る・見られる・魅せる」

校長 小菅みちる

猛暑の毎日が続きましたが、みなさんはどのような夏休みを過ごしたでしょうか。学校の補充教室や水泳教室、部活動などの様子を見ましたが、暑い中参加していた生徒のみなさんの粘り強く取り組む姿勢は本当に立派でした。また、指導にあられた先生方の熱いパワーもしっかりとみせていただきました。家族や友人と楽しい時間をもつことができた人もいたことでしょう。それぞれ充実した夏休みになったのではないかと考えています。

今日から、二学期がスタートします。一学期の終わりに、各教科で授業アンケートをとりましたね。その結果を、見せていただきました。「授業が楽しい」「授業後にわかったと感じることができる」といった回答が多く見られ、うれしく思いました。ほとんどの教科で90%ほどの生徒が肯定的な回答をしていたのです。それに対して、「主体的に取り組んだ」と回答した生徒の割合があまり高くなかったことが残念でした。肯定的な回答が65%ほどしかない教科もありました。「主体的に取り組む」ということは、変化の激しいこれからの社会の中で、とても大切なことになってきます。学習はもちろんですが、自ら課題を見つけ、主体的に取り組むことが、様々な場面で求められています。一学期の振り返りを大切に、二学期はぜひ、主体的に取り組むことを念頭に置いてみてください。

さて、二学期は、C組は校外学習や連合運動会、1年生は移動教室、2年生は3日間の職場体験学習、3年生は進路説明会や複数回にわたる復習確認テスト、そして学校全体としてはげやき祭という大きな行事が控え、忙しい毎日になると思います。つまり、一度にいくつものことを処理していく能力が要求されるわけです。勉強するためには、きわめて難しい状況があるかもしれません。一般的に私たち人間には弱いところがあって、「僕は今この仕事で忙しいから」とか「〇〇が大変だから」等と言い訳をしてそのような立場から逃避してしまいます。しかし、本当はそういう状態の中でこそ、本物の学力が身についてくるのです。世の中で成功を成し遂げた人は、その悪条件から逃避せずに、挑戦していったからこそ成功しています。悪条件と思われる機会は、絶好のチャンスであることを知っていて、それを活用したのです。そう考えると、この二学期はみなさんにとって挑戦できるチャンスがたくさん用意されているということです。「自分を鍛えるとき」と受け止め、みなさんの一層の努力と飛躍を期待します。

この絶好のチャンスに、石中生のみなさんにぜひ取り組んでほしいことがあります。それは、「見る・見られる・魅せる」ことです。

1年生のみなさんは、上級生をよく「見る」ことで学んでください。石中の先輩のよいところを、しっかりと吸収しましょう。

2年生のみなさんは、自分たちが「見られる」ことを意識した言動をとりましょう。下級生はあなたたちを見て学んでいるのです。見られているからこそ成長できることがあるはずですよ。

そして3年生のみなさんは、「魅せる」ことが重要です。これまでの学びを仲間とともに存分に発揮し、魅せてください。もちろん、「魅せる」ための努力や工夫を忘れずに。

「見る・見られる・魅せる」です。感動との出会いは、待っていても生まれません。石中生みんなで、主体的に取り組み、感動の二学期をつくりましょう。

保護者のみなさま

新学期がはじまりました。どうぞよろしくお願ひいたします。学校は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じてまいります。なお、学校行事等については、今後も状況に応じて変更・延期・中止等の可能性があります。ご理解ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

Nコン予選金賞、本選優良賞受賞しました！！

音楽科 主幹教諭 畑山拓慈

7/30、8/9にNコン（NHK全国学校音楽コンクール東京都コンクール）に初めて参加してきました。

このNコンへの参加は、コロナ禍で様々な活動が制限されてきた中、「異学年交流を通して、生徒同士が石中生の素晴らしさをもっと感じてほしい。」「合唱で石中をさらに盛り上げたい。」という思いで発足したプロジェクトでした。

6月に有志を募り集まった総勢26名。本番まで2ヶ月弱という短い期間で2曲歌わなければならない中、参加生徒全員がスケジュールを調整し、できることを精一杯取り組みました。練習の内容も3年生を中心に、自分たちで工夫し学年関係なくアドバイスをし合ったり、意見を出し合ったりと、全員が協力して練習を重ね本番に向けて曲の完成度がどんどん高まっていきました。

そして迎えた7/30の予選では、「楽しんで表現する！」「いままで頑張ってきたことを思いきって表現する」ということをテーマにしました。出演前は緊張している生徒も多かったのですが、いざ演奏が始まると全員が躍動感にあふれ生き生きと歌い、それぞれが持てる力を存分に発揮することができました。生徒からは「できることはやった。」「楽しかった！」「こんなに自分たちの声が会場で響くとは思わなかった！」など全員が充実感をもち本番を終えることができました。初めての参加ということもあり、みんなで「入賞できたらいいね」と話していました。結果発表は夜7時にHP上での発表だったので、「よい夏休みを〜」とあって学校で解散しました。結果は…まさかの金賞！本選への出場が決まりました。

8/9の本選は、予選で金賞を受賞した15校が出場し石中の出番は1番でした。今回のテーマは「前よりも楽しく！！前の悔しさは全てこの舞台においてこよう」にしました。予選で自信をつけた生徒も多く、予選の時よりもさらにレベルアップした合唱を舞台の上で臆することなく披露することができました。また本選ということもありレベルの高い演奏をたくさん聴けたことも、良い刺激となり貴重な機会となりました。本選では入賞はできませんでしたが優良賞をいただきました。とても立派でした。

2回の本番を通して、「みんなで協力してできたことが楽しかった。舞台でも楽しく歌うことができた。」「みんなの音がすごく響いていた。」「先輩に教えてもらったり、仲良くなれたたりして良かった」などの声が多く上がり、生徒一人一人にとって合唱を通して絆を深められた機会になったことをうれしく思いました。また練習で頑張る姿や、本番の舞台上での

一人一人の表情や歌声の全てが私にとっても大切な思い出となりました。

参加してくれた生徒はもちろん、予選・本選とも、譜めくりなどのお手伝いをしてくれた生徒や、伴奏をしてくれた今年度の教育実習生の有田花さんほか、色々な方々の協力や応援があって今回の活動が有意義なものとなったことを心から感謝しています。

また、けやき祭など石中生や保護者、多くの方にも聴いてもらえる機会があれば是非足をお運びいただければと思います。

ビブリオバトル素晴らしい発表でした！！

国語科 教諭 佐藤 千佳

令和4年8月23日(火)、田園調布せせらぎ館で行われたビブリオバトルに参加しました。学校全体で参加者を募ったところ、1年生5人、2年生1人が参加したいと申し出がありました。夏季休業中の補充教室で何度も集まり、本の魅力や自分と本のつながりなどを考え、話す内容をまとめていきました。また、教職員の方々に向けて本番さながらの形で発表する練習も行いました。

当日は朝9時に石川台中学校の正門前に集合し、歩いてせせらぎ館まで向かいました。会場では田園調布中学校の生徒2人と一緒に、計8人によるビブリオバトルが行われました。保護者や施設の方々にも囲まれてやや緊張した面持ちの生徒達でしたが、自分の順番になると、どの子も自分の好きな本の魅力を熱く語ってくれました。聞いているうちに本が読みたくなってしまおうような内容に仕上がっていて、施設の方々からも大変好評でした。4冊ずつ紹介した時点で投票を行い、「発表を聞いて自分が読みたくなった本」をそれぞれ選びました。今回の発表は、本の興味を深めるよい機会になったと思います。大変お疲れ様でした。

◎表彰の記録◎

◆野球部

第60回調布地区少年野球大会 7月30日

準優勝 ※蓮沼中、大森二中と合同チームで頑張りました。

◆Nコン 有志合唱

第89回NHK全国学校音楽コンクール東京都コンクール予選 7月30日

中学校の部 金賞

第89回NHK全国学校音楽コンクール東京都コンクール本選 8月9日

中学校の部 優良賞

◆卓球部

令和4年度大田区中学校卓球夏季大会 7月31日

女子個人 第5位

◆吹奏楽部

第62回東京都中学校吹奏楽コンクール 8月9日

東日本部門 銅賞

吹奏楽のリーダーの表彰 8月9日

◆ビブリオバトル

グループ発表チャンプ本受賞 8月23日
2名

◆陸上部

令和4年度大田区中学校下記陸上競技大会 8月26日

共通男子砲丸投	第3位	9m16
共通男子800m	第5位	2'21"85
共通男子4×100mR	第3位	48"55
2・3年男子走幅跳	第3位	5m14
1年女子800m	第4位	2'56"28

